

多文化便り一五号

今年度初
刊行

多文化ミュージアムを振り返って

2月15日から17日まで、武蔵野市国際交流協会（MIA）と多文化コミュニケーション学科との共同企画「多文化ミュージアム」が武蔵野プレイスで行われました。これは2015年のアジア祭多文化コミュニケーション学科企画「多文化フェス2015」を訪れた武蔵野市国際交流協会の方から、共同企画として提案されたものです。「多文化フェス2015」に参加した2年生が中心となつて、中国の春節、韓国のチュソク、東南アジアの市場を再現し、「なまえて多文化」も行いました。今回は、アラビア語、韓国語、タイ語、ヒンディー語で名前を書きました。後半はモンゴルの楽器、馬頭琴によるモンゴルの曲や日本の曲の演奏を披露しました。翌日の夕方には、タイの伝統舞踊の会を設けました。

「多文化フェス2015」の展示のほかには、学科紹介パネル、地域言語紹介パネル、多文化フィールドスタディー紹介パネルなどを展示しました。4年間の多文化コミュニケーション学科のイベントがざらりと並びました。いろいろ作ったものだど教員も学生もしみじみと感じました。

来場者の声 恣意的にイイものだけ選んでみました。

「すばらしい企画。3日間で終わってしまうのはもったいない。地域に留学生や在住外国人が増えている。彼らの力を活かしてイベントを行うのはとてもいいこと。」

「タイ民族舞踊、とてもいい時間に来ることができた。」

「なまえて多文化、外国語の文字で自分の名前を書いてもらってとてもよかった。文字の形がおもしろい。」

「展示物がよくできていておもしろい。」



MIAメッセージアースとムーバス

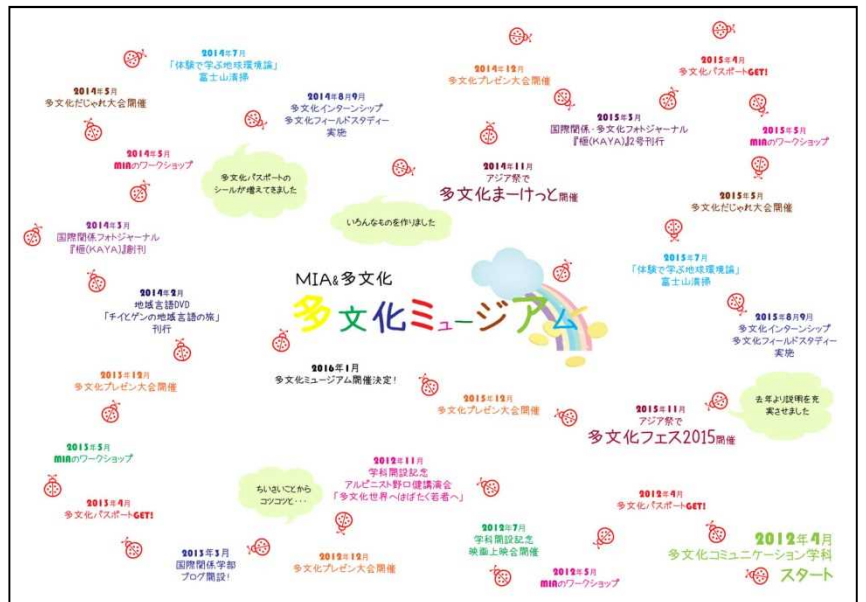


韓国のチュソク（右）と東南アジアの市場（左）

アジア祭多文化実行会開催 今年は「多文化??？」

4月21日、2016年度アジア祭多文化コミュニケーション学科実行委員会を開催し、今年のテーマを話し合いました。一昨年のテーマは「多文化まーけっと」、昨年のテーマは「多文化フェス2015」でした。

■ 亜細亜大学 国際関係学部 BLOG
Faculty of International Relations



多文化ミュージアムまでの道のり

